

株式会社 木村ブロック工業

29年度補正

ものづくり
技術



事業計画名

寸法精度の高い新製品ブロックの製造による、作業工程の効率化と若手職人の即戦力化

<事業の背景>

作業工程の効率化と若手職人の即戦力化が求められていた

土木・建設業界は職人の高齢化による深刻な人材不足から、人材確保に向けた労働環境の整備や作業効率の改善に取り組むことで製造プロセスを改善する必要があった。
業界全体における熟練工不足に対応するため、経験の浅い若手職人でも熟練工に見劣りしない施工ができる寸法精度の高いコンクリートブロックの開発が求められていた。



コンクリートブロックの製造

こんな会社です

鹿児島県に2社しかないブロック製造事業者です

当社は鹿児島県に2社しかないブロック製造事業者で、普通ブロックのみを製造しています。目地付きブロックの宣伝をしつつお客様が求めている製品を提供するため社員全員でお客様の声を聞き、その要望に応えながら、取扱い商品を増やしています。
令和2年3月にはグループ企業を吸収合併し、土木建設業にも取り組んでいます。

木村社長 木藤部長 杵島工場責任者



<事業内容と成果>

空洞ブロック型枠を導入し、新製品「目地付きブロック」の開発により課題を解消した

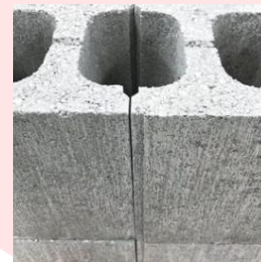
従来のコンクリートブロックは塀積み作業において熟練技術を要し、また、既存の型枠では寸法精度の高いブロックの製造が困難だった。そこで空洞ブロック型枠の導入により、高い寸法精度の新製品「目地付きブロック」を開発した。空洞ブロック型枠は、型替えが早くなり、作業も早くなった。これにより、製造過程の簡素化と作業効率化が図られ、若手職人の即戦力化も実現した。



K2EX-M用空洞ブロック型枠

<現在の状況>

高いリピート率で目地付きブロックが使用されている



目地付きブロック

当社のコンクリートブロックは、鹿児島県・宮崎県・熊本県に出荷しており、昨年の出荷実績は10cm幅約61万本の内目地付きは5.6%、12cm幅約80万本の内目地付きは6.1%、15cm幅約90万本の内目地付きは8.2%を占めている。左官業、造園業、土木・建設業から「この目地付きブロックは良い」との高評価をいただいております。一度使った顧客からは高いリピート率で目地付きブロックの注文が入っている。



<今後の展開>

品質管理を徹底し、安全・安心なブロック塀の普及に努めていく

平成28年の熊本地震や平成30年の大阪府北部地震では、ブロック塀の倒壊で死傷者が出る大きな被害が発生した。きちんとした施工をすれば、本来ブロック塀は風水害から人を守るものである。ブロックの製造会社は日頃から品質管理を徹底し、製造したブロックを正しく施工してもらい、安全・安心なブロック塀が普及するように努めている。自社工場で講習会も実施しており、本年度熊本県で行われた2級ブロック建築技能士の試験では2名が合格した。



日頃から品質管理の徹底に努める

info

株式会社木村ブロック工業
代表取締役 木村 由美子



事業実施場所

〒899-5241

鹿児島県始良市加治木町木田5348-58

TEL 0995-63-2259

FAX 0995-62-3685

http://www.kimurablock.co.jp

設

立

資本金額

従業員数

業種

昭和51年11月

3,000万円

47名

窯業・土石製品製造業



本社